

事務事業評価シート(平成24年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
73141	庁舎管理事業	総務課	管理係	中村 良治	熊谷 俊美	
		一次評価年月日	平成 25 年 6 月 14 日	連絡先〔内線〕	2206	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		予算コード	0206	
			事業名(歳出予算見積書)			
			#N/A			
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ		章	(コード選択)	7章	効果的・効率的な行政運営のまちづくり
			節	(コード選択)	3節	公的組織・施設の健全運営
			項〔基本施策〕	(コード選択)	1項	公的組織・施設の健全運営
		目〔主な施策〕	(コード選択)	4目	その他施設の健全運営	
関連する計画等への位置づけ		<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間		(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町民(来庁者)、職員

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

役場来庁者及び職員にとって、良好な施設環境であるように維持管理を行う

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 庁舎管理職員及び清掃委託業者と連絡を密にし、日常の保守点検業務を確実に実行
- 2 省エネルギーを推進していくため、庁舎電気や重油使用量を削減する
- 3 老朽化した庁舎の改修計画(耐震化を含む)を立案し、改修工事等を実施する
- 4

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	施設修理等修繕箇所数		46	40	24	0.60	24
	説明	維持修繕工事(大規模修繕を除く)		目標値設定の根拠 月平均2箇所				
②	指標名	省エネルギー(電気使用量等)啓発回数		15	13	12	1.08	12
	説明	庁内メールによる職員への啓発		目標値設定の根拠 月平均1回				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	苦情発生件数(町民)		4	3	0	0.00	0
	説明	庁舎管理に関する苦情件数		目標値設定の根拠 過去の苦情件数から推計				
②	指標名	年間電気使用量		349,740	305,500	372,691	1.22	372,691
	説明	役場庁舎の電気使用量		目標値設定の根拠 21年度比毎年1%減				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		決算	決算	決算	見込み
○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	39,712	26,535	56,034	74,022
対前年比	%		66.8	211.2	132.1
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	(千円)	12,548	2,496	2,552	34,300
B) 一般財源(税金)	(千円)	27,164	24,039	53,482	39,722
①事業費	(千円)	34,700	22,687	52,232	69,588
対前年比	%		65.4	230.2	133.2
②人件費の概算	(千円)	5,012	3,848	3,802	4,434
対前年比	%		76.8	98.8	116.6
		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
課長					
課長補佐					
係長					
一般職員					
延べ人数					
町職員(正規職員)		2,786	2,657	2,612	3,122
臨時職員		2,226	1,191	1,190	1,312

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)	
・庁舎・町民会館受電設備改修工事を含む建設工事は、大きなトラブルもなく無事竣工することができた。 ・省エネ法による中長期計画では、病院の新築移転で設備面の省エネ化が図られたが、1年経過していないため確実な省エネ効果が得られていない。、各施設の設備点検記録等は、一部の指定管理施設や新病院を除き、管理標準に基づき運用が始まった。	

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	25年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
・22年度に庁舎の耐震診断が終了し、耐震補強の必要性が出たため、25年度実施設計、26年度耐震化工事に取り組む。また、庁舎設備の改修も急務となっているため、耐震工事終了後、早急に庁舎の改修に取り組む。 ・改正省エネ法に伴い、24年度中に管理標準(マニュアル)作成及び施行を図った。	[反映内容] 25年度庁舎耐震化・改修工事実施設計

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
受電設備の更新も停電可能日の限られる中で、順調に竣工できた。今後は耐震化工事に向け準備を早めに取り組む。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

➡ a 上記 a~e を選択